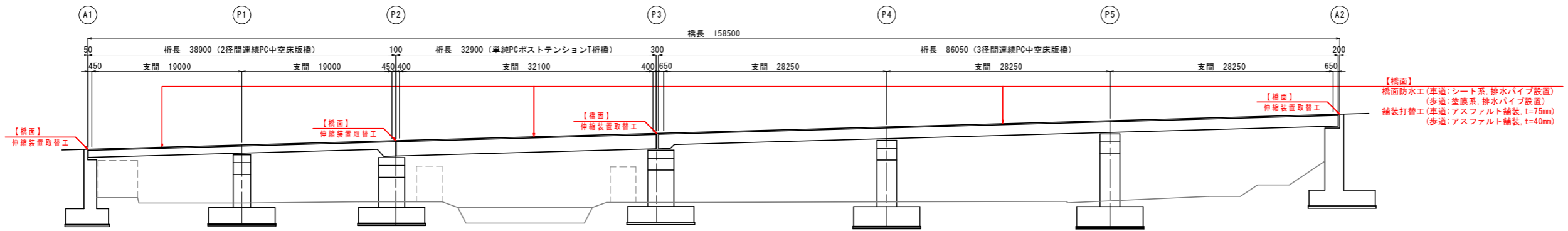
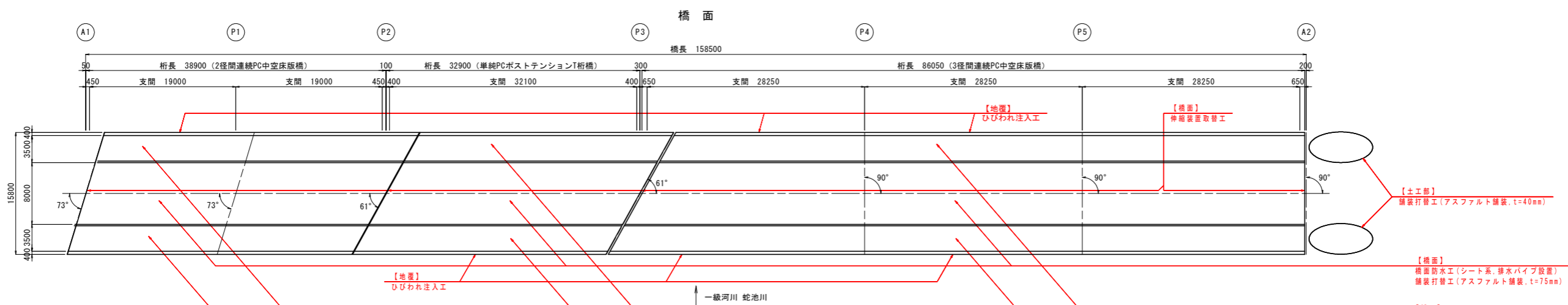


蛇池高架橋 補修一般図

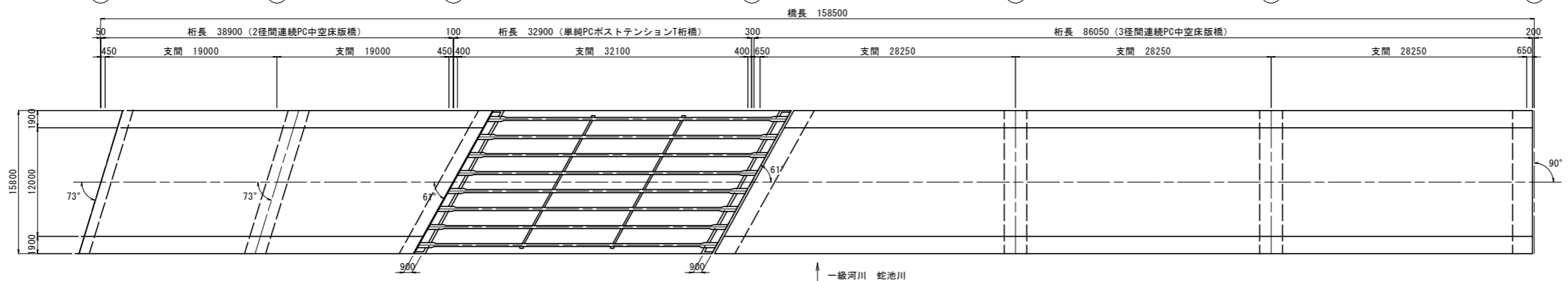
側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



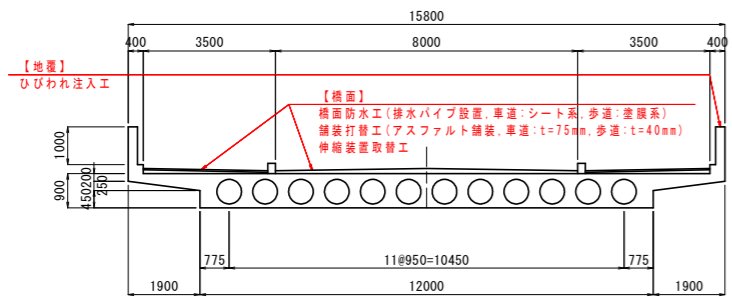
断面図 S=1:100



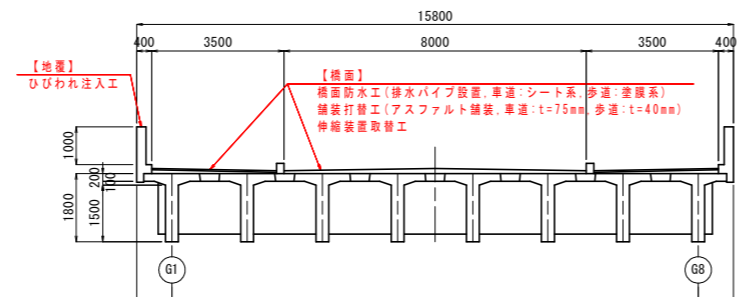
補修概要

工種	工法概要
上部工	一般補修工
	ひびわれ注入工
	橋面補修工
	伸縮装置取替工
	橋面防水工(車道:シート系,排水パイプ設置) (歩道:塗膜系,排水パイプ設置)
	舗装打替工(車道:アスファルト舗装,t=75mm) (歩道:アスファルト舗装,t=40mm)
	その他
	A2側土工部:舗装打替工(アスファルト舗装,t=40mm)
適用示方書	道路橋示方書・同解説I~V(平成24年3月)

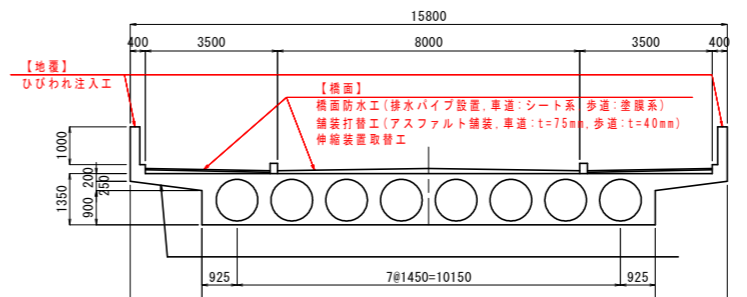
A1-P1・P1-P2径間
(2径間連続PC中空床版橋)



P2-P3径間
(単純PCポストテンションT桁橋)



P3-P4・P4-P5・P5-A2径間
(3径間連続PC中空床版橋)



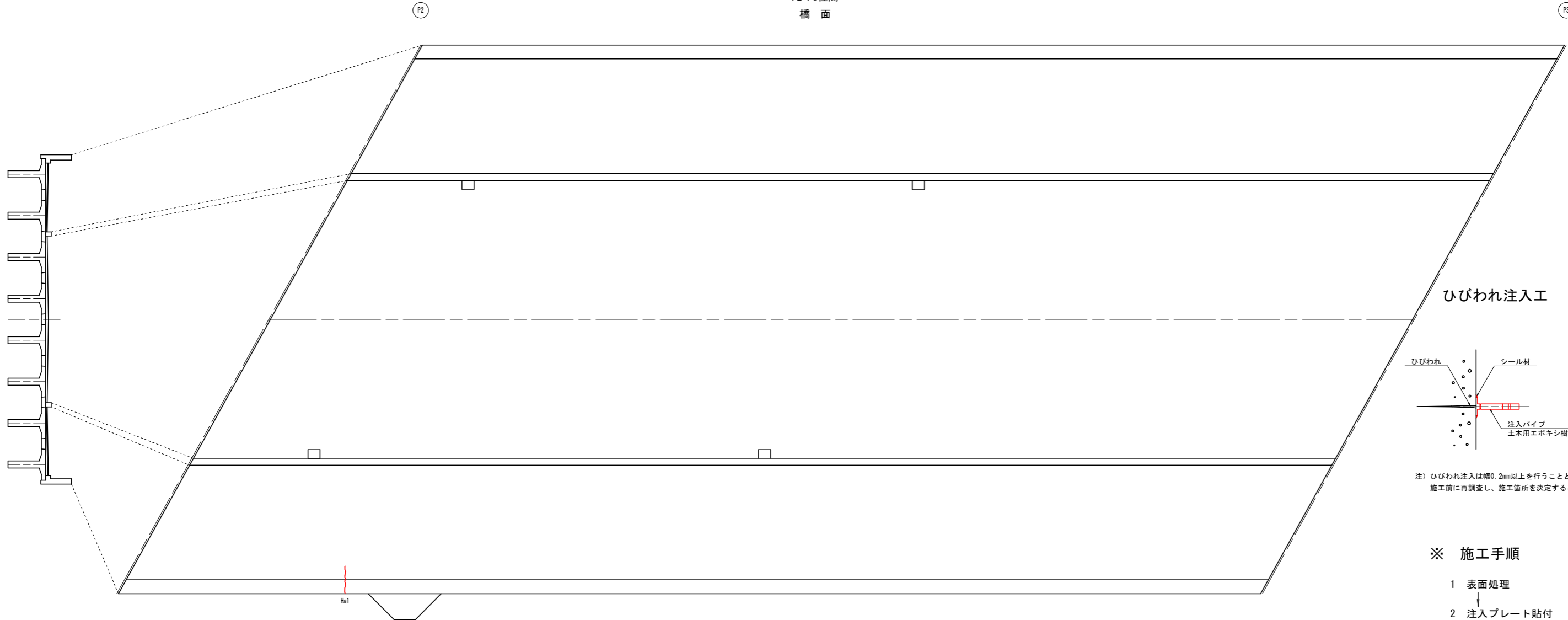
実施設計図面

工事名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋)
路線名等	阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋)(第1分割)
図面名	補修一般図
縮尺	図示 図面番号 1 / 9
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)

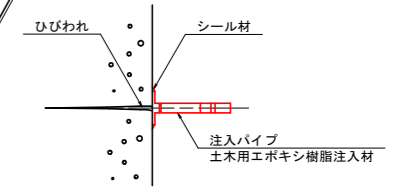
蛇池高架橋 上部工補修図 (2/8)

平面図 S=1:60

P2-P3径間
橋面



ひびわれ注工



注) ひびわれ注工は幅0.2mm以上を行うこととし、施工前に再調査し、施工箇所を決定すること。

※ 施工手順

- 1 表面処理
- ↓
- 2 注入プレート貼付
- ↓
- 3 シール材塗布
- ↓
- 4 注 入
- ↓
- 5 養 生
- ↓
- 6 仕 上 げ

- ※ 注
1. 注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上のものとする。
 2. ひびわれ注入深さは 上部工：50mm、下部工：100mmを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
 3. 注入パイプの間隔は、25cm~30cm程度とする。
 4. 注入材はエポキシ樹脂系を使用する。
 5. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。

ひびわれ補修工

補修材の要求性能

(この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする)

項目	注 入 材			充 填 材	
	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 1種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 2種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 3種	土木補修用 充填材 ポリマー セメント系 B	土木補修用 充填材 シーラント系 A, B
ひびわれ進行区分 ^{※1}	B	B	A	B	A, B
ひびわれ幅 (mm)	0.2~5.0	0.2~5.0	0.2~5.0	5.0<	5.0<
粘 度 (mPa・s)	1,000以下	4±1 ^{※2}	1,000以下	10,000以下	ダレを認めず
可使時間 (分)	30以上	30以上	30以上	30以上	240以上
硬化時間 (時間)	16以内	16以内	24以内	16以内	24以内
硬化収縮 (%)	0.1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下	—
伸 び 率 (%)	—	50以上	100以上	—	800以上
モルタル付着強さ (乾燥面) (N/mm ²)	6以上	6以上	6以上	6以上	たわみ量10mm 以上で破壊す ること
付着力耐久性保持率 (%) ^{※3}	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上

※1: A=ひびわれが進行している、B=ひびわれの進行が止まった
 ※2: チキントロピック係数 2rpm/20rpmの粘度で表す。
 ※3: 規格に対する百分率

出典: 「ひびわれ調査、補修・補強指針: 日本コンクリート工学協会」 P.128

損傷凡例

損傷の種類	表 示	数量記号	補修工法
ひびわれ (0.2~0.5mm未満)		H	ひびわれ注工

ひびわれ注工数量

No	W (mm)	L (mm)
地覆(壁高欄)		
0.2~0.5mm未満		
Ha 1	0.20	800
合 計		800
合 計 (m)		0.8

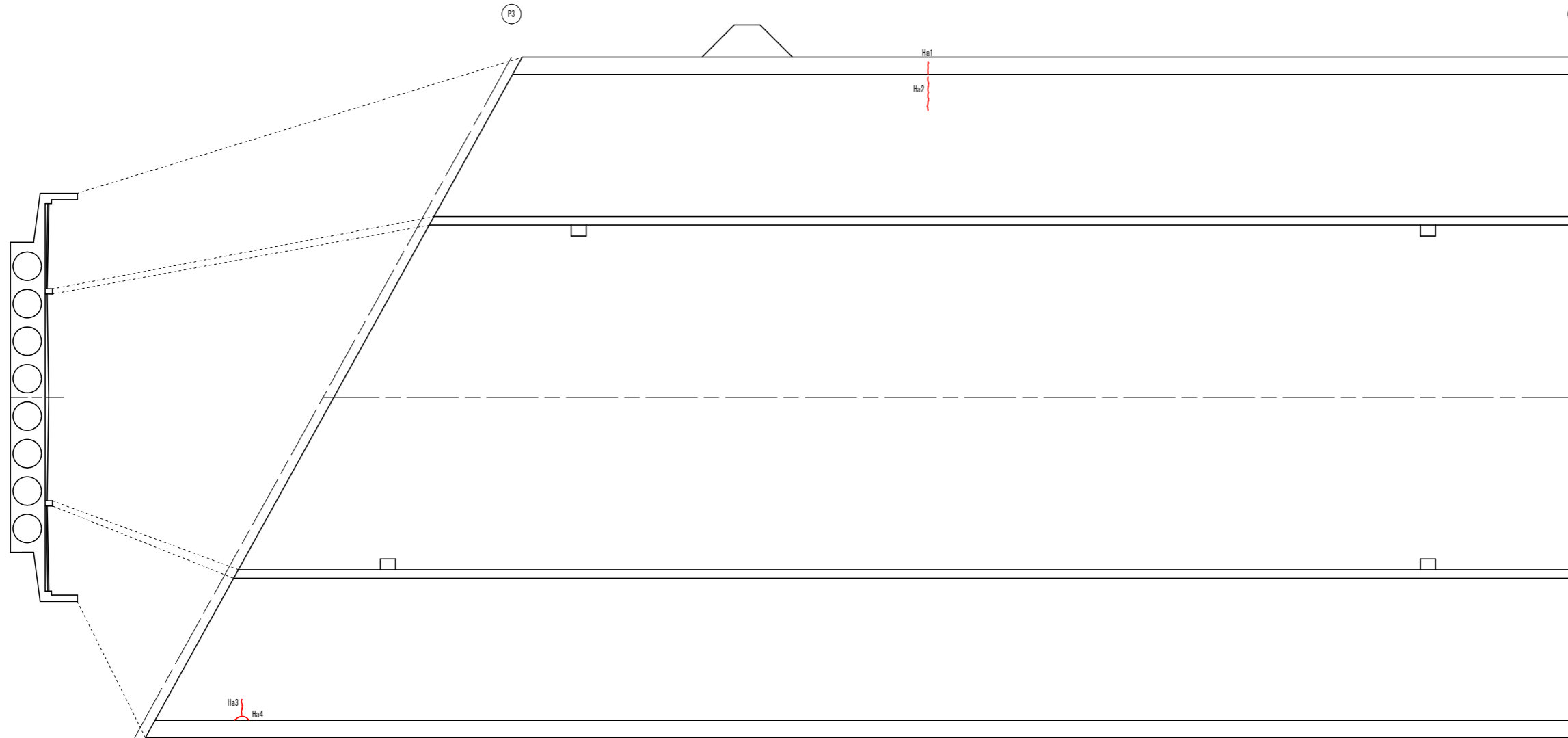
実施設計図面

工 事 名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋) 阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)		
路線名等	(一) 宮川内牛島停車場線		
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋) (第1分割)		
図 面 名	上部工補修図(1/3)		
縮 尺	S=1:60	図面番号	2 / 9
会 社 名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)		

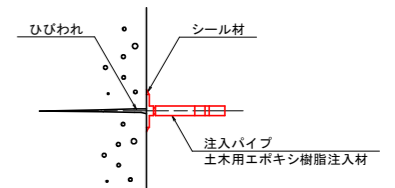
蛇池高架橋 上部工補修図 (4/8)

平面図 S=1:60

P3-P4径間
橋面



ひびわれ注入工



注) ひびわれ注入は幅0.2mm以上を行うこととし、施工前再調査し、施工箇所を決定すること。

※ 施工手順

- 1 表面処理
- ↓
- 2 注入プレート貼付
- ↓
- 3 シール材塗布
- ↓
- 4 注入
- ↓
- 5 養生
- ↓
- 6 仕上げ

※ 注

1. 注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上とする。
2. ひびわれ注入深さは 上部工：50mm、下部工：100mmを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
3. 注入パイプの間隔は、25cm～30cm程度とする。
4. 注入材はエポキシ樹脂系を使用する。
5. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。

ひびわれ補修工

補修材の要求性能

(この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする)

ひびわれ補修材の性能例

項目	注 入 材			充 填 材	
	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 1種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 2種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 3種	土木補修用 充填材 ポリマー セメント系	土木補修用 充填材 シーラント系
ひびわれ進行区分 ^{※1}	B	B	A	B	A, B
ひびわれ幅 (mm)	0.2~5.0	0.2~5.0	0.2~5.0	5.0<	5.0<
粘 度 (mPa・s)	1,000以下	4±1 ^{※2}	1,000以下	10,000以下	ダレを認めず
可使時間 (分)	30以上	30以上	30以上	30以上	240以上
硬化時間 (時間)	16以内	16以内	24以内	16以内	24以内
硬化収縮 (%)	0.1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下	—
伸 び 率 (%)	—	50以上	100以上	—	800以上
モルタル付着強さ (乾燥面) (N/mm ²)	6以上	6以上	6以上	6以上	たわみ量10mm 以上で破壊す ること
付着力耐久性保持率 (%) ^{※3}	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上

※1: A=ひびわれが進行している、B=ひびわれの進行が止まった

※2: チキソトロピック係数 2rpm/20rpmの粘度で表す。

※3: 規格に対する百分率

出典: 「ひびわれ調査・補修・補強指針: 日本コンクリート工学協会」 P.128

損傷凡例

損傷の種類	表 示	数量記号	補修工法
ひびわれ (0.2~0.5mm未満)		H	ひびわれ注入工

ひびわれ注入工数量

No	W (mm)	L (mm)
地覆(壁高欄)		
0.2~0.5mm未満		
Ha 1	0.20	300
Ha 2	0.30	800
Ha 3	0.20	400
Ha 4	0.20	400
合 計		1900
合 計 (m)		1.9

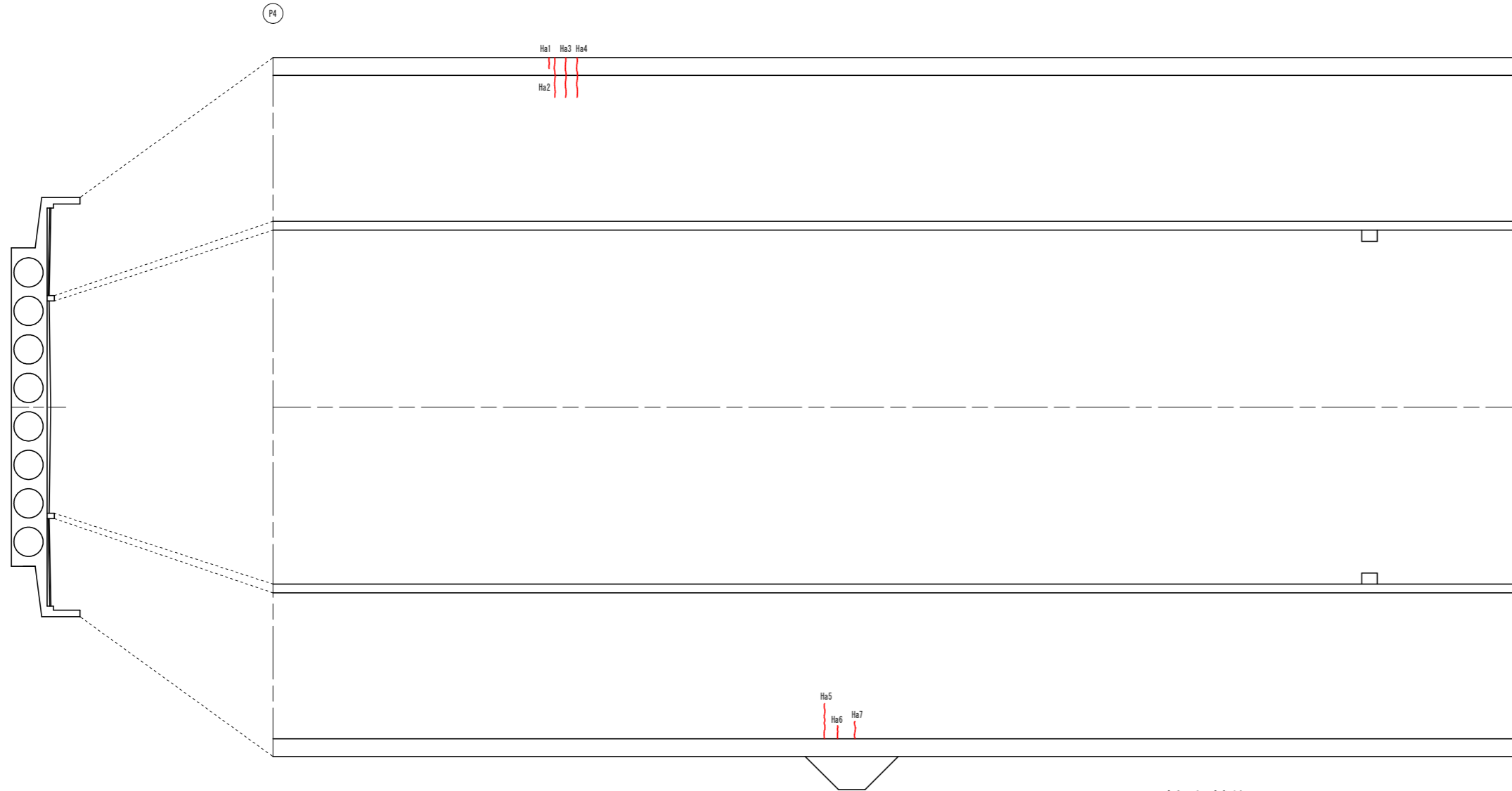
実施設計図面

工 事 名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋) 阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)		
路線名等	(一) 宮川内牛島停車場線		
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋) (第1分割)		
図 面 名	上部工補修図(2/3)		
縮 尺	S=1:60	図面番号	3 / 9
会 社 名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)		

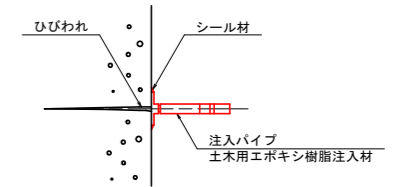
蛇池高架橋 上部工補修図 (6/8)

平面図 S=1:60

P4-P5径間
橋面



ひびわれ注入工



注) ひびわれ注入は幅0.2mm以上を行うこととし、施工前に再調査し、施工箇所を決定すること。

※ 施工手順

- 1 表面処理
- ↓
- 2 注入プレート貼付
- ↓
- 3 シール材塗布
- ↓
- 4 注 入
- ↓
- 5 養 生
- ↓
- 6 仕 上 げ

※ 注

1. 注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上のもとする。
2. ひびわれ注入深さは 上部工：50mm、下部工：100mmを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
3. 注入パイプの間隔は、25cm~30cm程度とする。
4. 注入材はエポキシ樹脂系を使用する。
5. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。

ひびわれ補修工

補修材の要求性能

(この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする)
ひびわれ補修材の性能例 (試験温度 20℃)

項目	注 入 材			充 填 材	
	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 1種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 2種	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材 3種	土木補修用 充填材 ポリマー セメント系	土木補修用 充填材 シーラント系
ひびわれ進行区分 ^{※1}	B	B	A	B	A, B
ひびわれ幅 (mm)	0.2~5.0	0.2~5.0	0.2~5.0	5.0<	5.0<
粘 度 (mPa・s)	1,000以下	4±1 ^{※2}	1,000以下	10,000以下	ダレを認めず
可使用時間 (分)	30以上	30以上	30以上	30以上	240以上
硬化時間 (時間)	16以内	16以内	24以内	16以内	24以内
硬化収縮 (%)	0.1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下	—
伸 び 率 (%)	—	50以上	100以上	—	800以上
モルタル付着強さ (乾燥面) (N/mm ²)	6以上	6以上	6以上	6以上	たわみ量10mm 以上で破壊す ること
付着力耐久性保持率 (%) ^{※3}	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上

※1: A=ひびわれが進行している、B=ひびわれの進行が止まった

※2: チキントロピック係数 2rpm/20rpmの粘度で表す。

※3: 規格に対する百分率

出典: 「ひびわれ調査・補修・補強指針: 日本コンクリート工学会」 P. 128

損傷凡例

損傷の種類	表 示	数量記号	補修工法
ひびわれ (0.2~0.5mm未満)		H	ひびわれ注入工

ひびわれ注入工数量

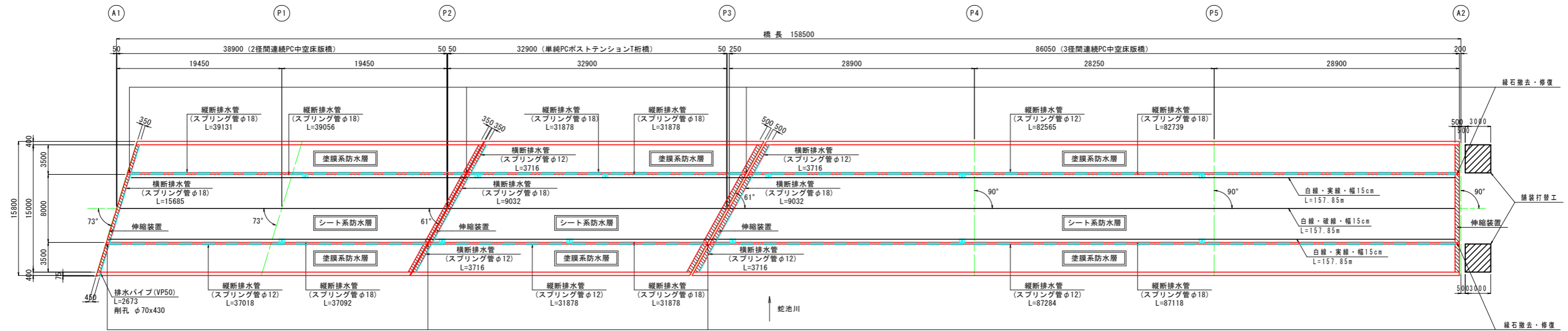
No	W (mm)	L (mm)
地覆(壁高欄)		
0.2~0.5mm未満		
Ha 1	0.20	250
Ha 2	0.20	900
Ha 3	0.20	900
Ha 4	0.20	900
Ha 5	0.20	800
Ha 6	0.20	300
Ha 7	0.20	400
合 計		4450
合 計 (m)		4.45

実施設計図面

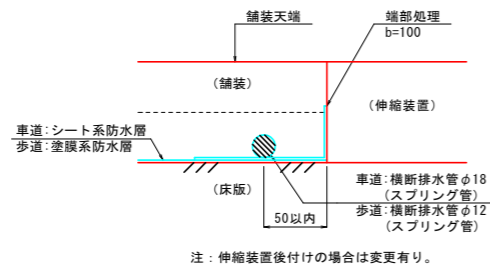
工 事 名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋) 阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)		
路線名等	(一) 宮川内牛島停車場線		
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋)(第1分割)		
図 面 名	上部工補修図(3/3)		
縮 尺	S=1:60	図面番号	4 / 9
会 社 名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)		

蛇池高架橋 橋面補修工詳細図

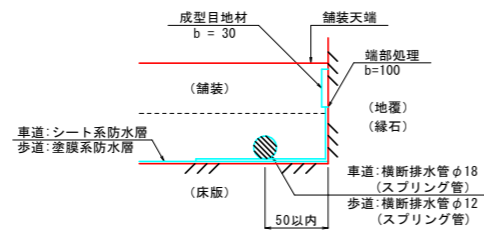
平面図 S=1:250



横断排水、端部防水詳細図 S=1:3



縦断排水、端部防水詳細図 S=1:3

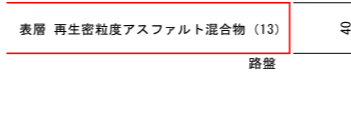
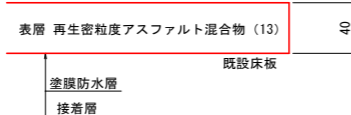
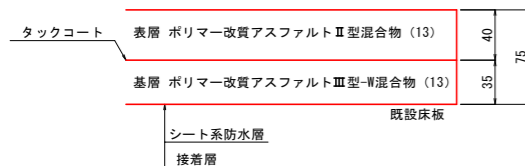


舗装構成図 S=1:3

車道部

自歩道部

土工部



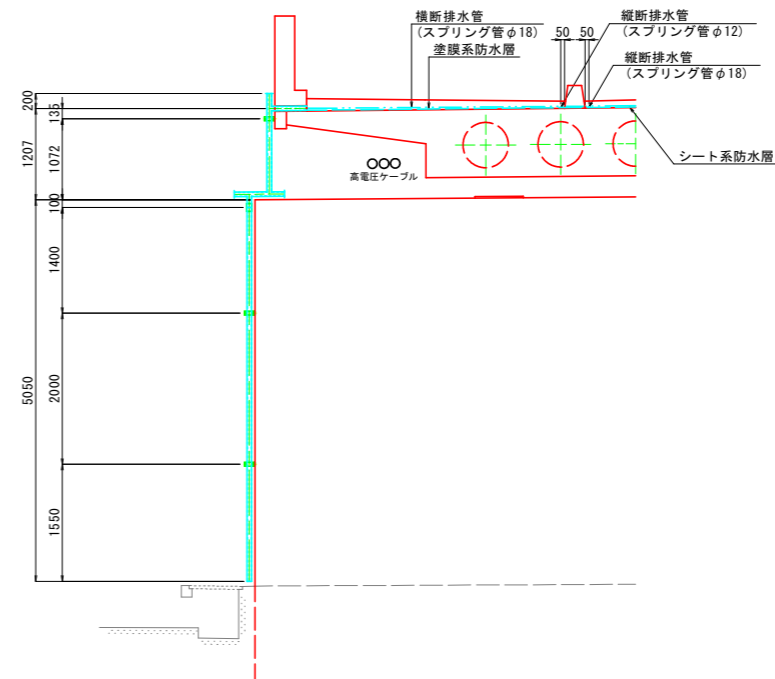
※ () は、最大骨材径を示す。

※ () は、最大骨材径を示す。

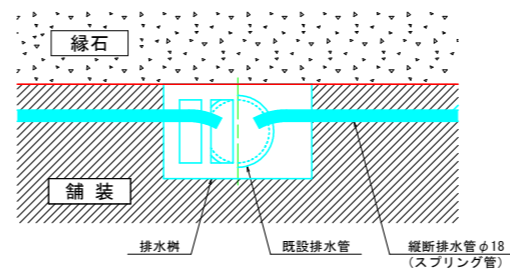
※ () は、最大骨材径を示す。

排水パイプ断面図 S=1:50

(A1橋台 上流側)



排水樹部流末処理図 S=1:6



注：縦断排水管は既設排水管に接続し、適切に排水出来る構造とすること。

防水工材料表

名称	規格	単位	数量	備考
シート系防水層		m ²	1240.3	伸縮装置部を除く車道部
塗膜系防水層		m ²	1023.3	伸縮装置部を除く自歩道部
縦断排水管	スプリング管φ18	m	336.5	深層部メッキ同等品以上、車道部
	スプリング管φ12	m	321.1	ステンレス同等品以上、自歩道部
排水パイプ	VP50、SP-1 L=2673	本	1	ΣL=2673
	VP50、SP-2 L=4950	本	1	ΣL=4950
取付金具	SS400 S-1	組	3	ΣW=3.456 kg
管理用蓋		個	3	
ジョイント		個	1	
成型目地材	b=30, t=5	m	930.2	ゼロシールSSテープ同等品以上
端部処理	b=100	m	1029.5	シルバーメッシュ同等品以上

注1：施工前に現状状況及び寸法等を測し、図面照合の確認を行うこと。
注2：削孔位置は既設鋼材を破断しないように詳細調査の上、決定すること。

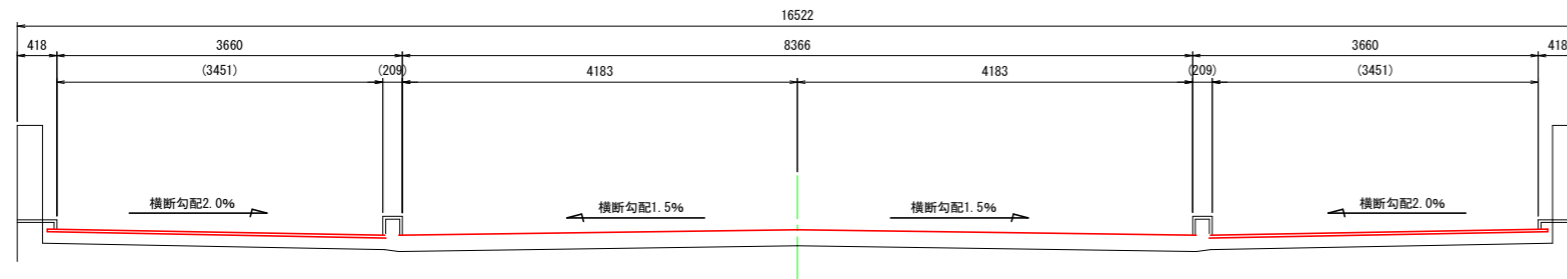
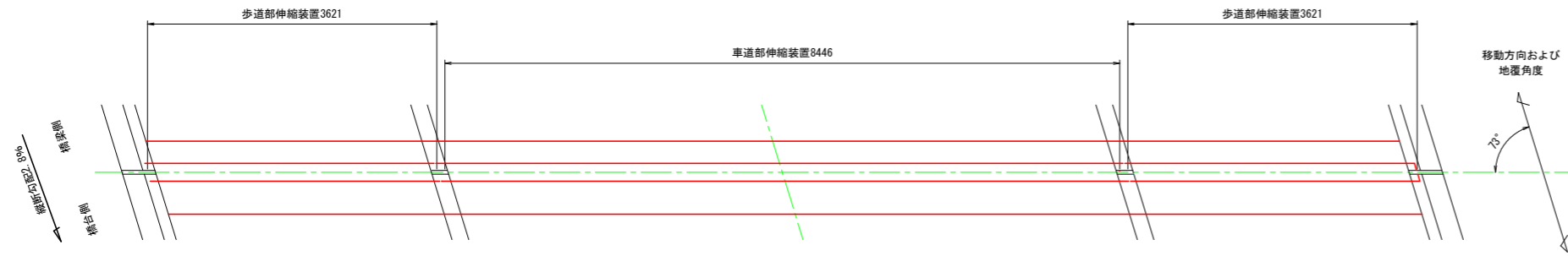
実施設計図面

工事名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋) 阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)		
路線名等	(一) 宮川内牛島停車場線		
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋)(第1分割)		
図面名	橋面補修工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)		

蛇池高架橋 伸縮装置取替工詳細図 (1/4)

A1橋台

金物設置図 S=1:40



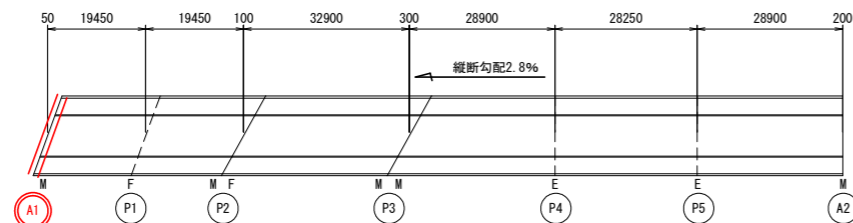
名称	材質	単位	数量	記事
車道部	車道部伸縮装置	m	8.446	60mm用
歩道部	歩道部伸縮装置	m	7.242	60mm用

項目	単位	数量
車道部伸縮装置	m	8.366
歩道部伸縮装置	m	6.902
縁石撤去・修復	m	1.83

温度範囲	-5°C ~ +35°C
------	--------------

注記
1. 既設の床版鉄筋は極力切断しないこと

配置図



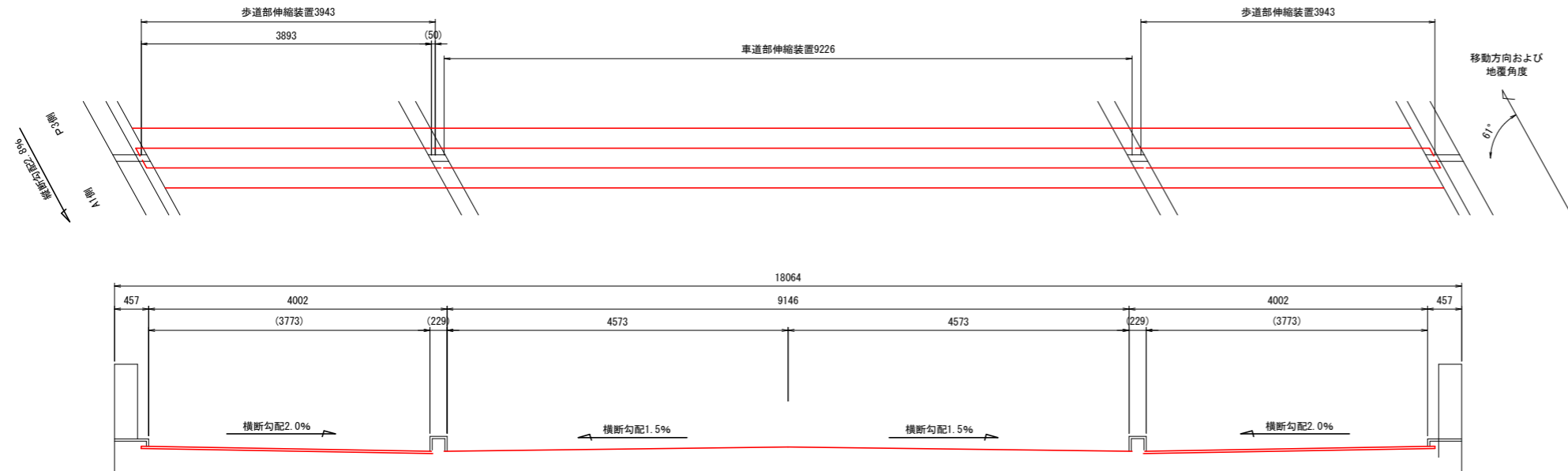
実施設計図面

工事名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋) 阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)		
路線名等	(一) 宮川内牛島停車場線		
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋)(第1分割)		
図面名	伸縮装置取替工詳細図(1/4)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)		

蛇池高架橋 伸縮装置取替工詳細図 (2/4)

P2橋脚

金物設置図 S=1:40



※ ()内は推定値

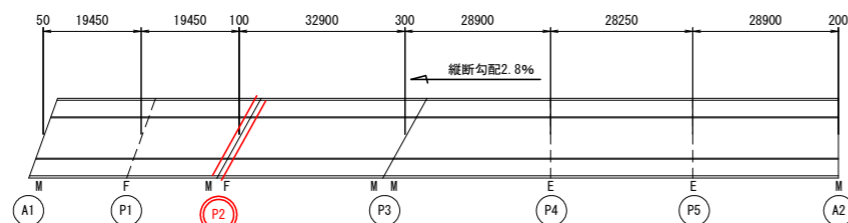
材 料 表 (1箇所当り)				
名 称	材 質	単 位	数 量	記 事
車道部 車道部伸縮装置	アルミ合金鋳物	m	9.226	80mm用
歩道部 歩道部伸縮装置	SS相当品・他	m	7.886	80mm用

撤去数量 (参考)				
車道部伸縮装置		m	9.146	
歩道部伸縮装置		m	7.546	
縁石撤去・修復		m	1.60	

設 計 条 件	
温度範囲	-5℃~+35℃

注記
1. 既設の床版鉄筋は極力切断しないこと

配置図

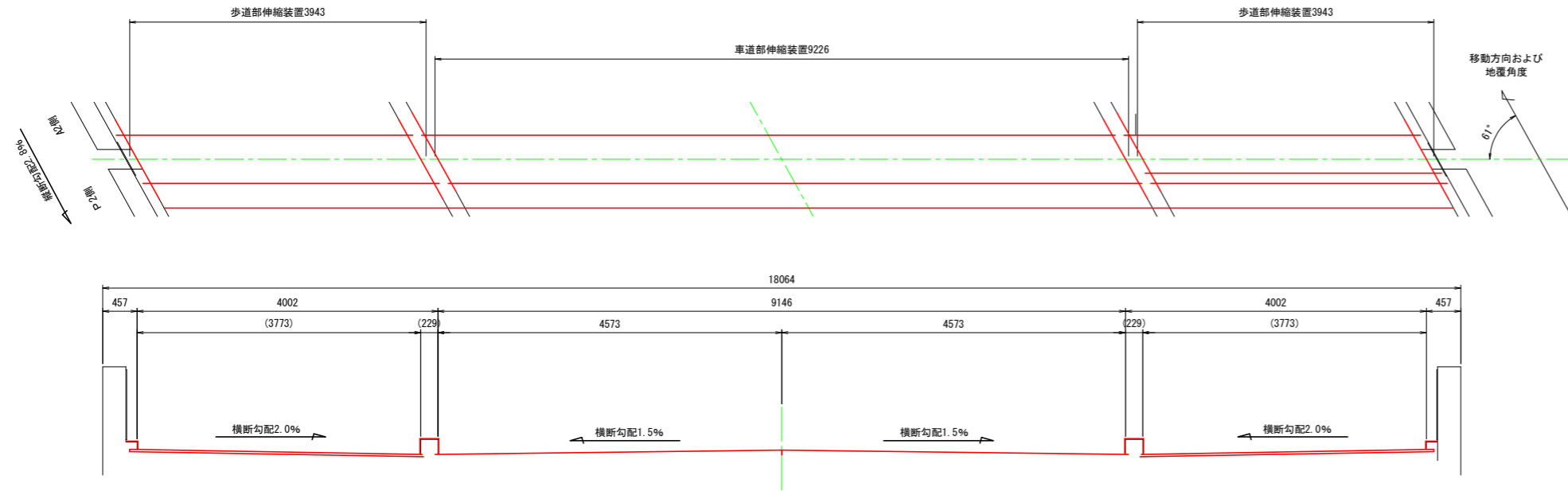


実施設計図面

工事名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋) 阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)		
路線名等	(一) 宮川内牛島停車場線		
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋)(第1分割)		
図面名	伸縮装置取替工詳細図(2/4)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)		

蛇池高架橋 伸縮装置取替工詳細図 (3/4) P3橋脚

金物設置図 S=1:40

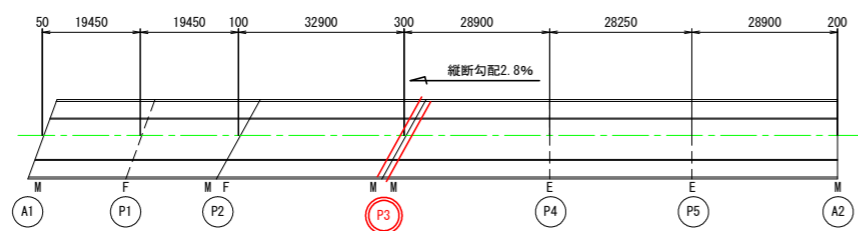


材 料 表 (1箇所当り)					
	名 称	材 質	単 位	数 量	記 事
車道部	車道部伸縮装置	アルミ合金鋳物	m	9.226	230mm用
歩道部	歩道部伸縮装置	SS相当品・他	m	7.886	230mm用

撤去数量(参考)					
	車道部伸縮装置		m	9.146	
	歩道部伸縮装置		m	7.546	
	緑石撤去・修復		m	2.60	

設 計 条 件		注 記
温度範囲	-5℃～+35℃	

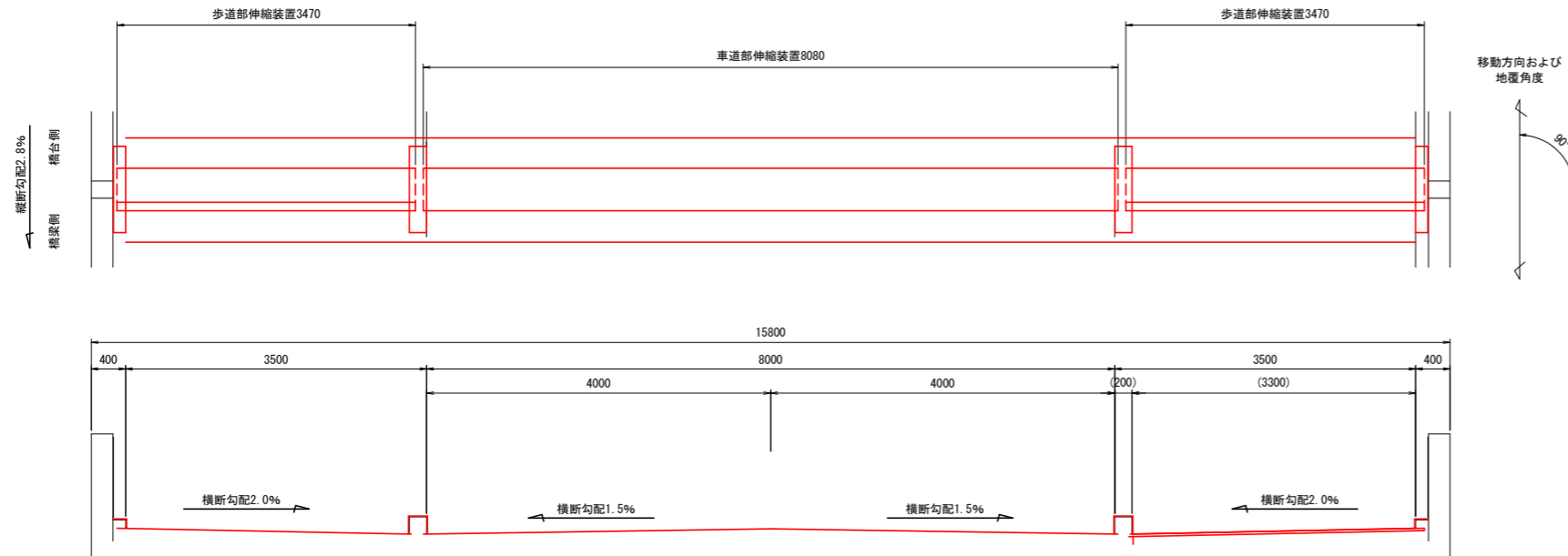
配置図



実施設計図面			
工事名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋) 阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)		
路線名等	(一) 宮川内牛島停車場線		
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋)(第1分割)		
図面名	伸縮装置取替工詳細図(3/4)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)		

蛇池高架橋 伸縮装置取替工詳細図 (4/4) A2橋台

金物設置図 S=1:40



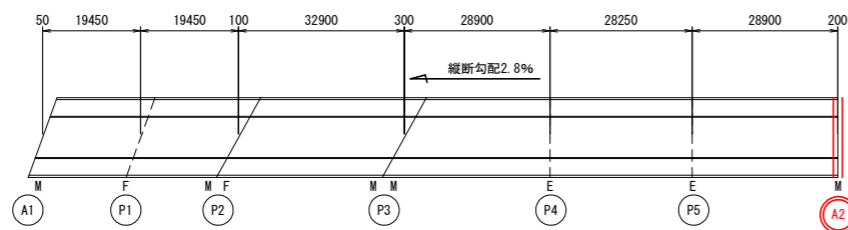
材 料 表 (1箇所当り)					
	名 称	材 質	単 位	数 量	記 事
車道部	車道部伸縮装置	アルミ合金鑄物	m	8.080	160mm用
歩道部	歩道部伸縮装置	SS相当品・他	m	6.940	160mm用

撤去数量(参考)					
	車道部伸縮装置		m	8.000	
	歩道部伸縮装置		m	6.600	
	緑石撤去・修復		m	2.43	

設 計 条 件	
温度範囲	-5℃～+35℃

注記
1. 既設の床版鉄筋は極力切断しないこと

配置図



実施設計図面

工事名	R1吉土 宮川内牛島停車場線(蛇池高架橋) 阿波・吉野西条 橋梁補修工事(1)		
路線名等	(一) 宮川内牛島停車場線		
工事箇所	阿波市吉野町西条(蛇池高架橋)(第1分割)		
図面名	伸縮装置取替工詳細図(4/4)		
縮尺	図示	図面番号	9/9
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(吉野川庁舎)		